



八峰町3月議会定例会

町長の行政報告を お知らせします

八峰町3月議会定例会が3月1日から3月15日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、当初予算、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

八峰町交通指導隊出隊式

昨年の秋田県飲酒運転追放等競争においては、3件の酒気帯び運転のほか、1件の交通死亡事故が発生しており、県内25市町村中、24位の結果となりました。この結果を厳しく受け止め、交通関係各位のご協力の下、「飲酒運転の撲滅」や「交通死亡事故ゼロ」の取り組みを強化するとともに、啓発活動などに努めてまいります。

八峰町消防出初め式

今年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを踏まえ、団員の参加人数の制限を解除して、実施しました。式典に先立ち、沢目駅前において、消防団員121名と消防車両15台による分列行進が披露され、峰栄館ホールにおいて行われた式典では、長年におたり消防活動に尽力された団員の方々の表彰を行うとともに、全員で今年の無火災を誓ったところでもあります。まだまだ暖房器具を使用する季節でありますので、消防団や消防署など関係機関と連携し火災予防運動を実施してまいります。



能登半島地震への支援

現在も、被災地では断水が続いており、仮復旧も3月末までかかる見込みとのことであります。町では、令和3年に購入した「災害用シャワーキット」2セットについて被災地への貸し出しを行っておりますが、今後も、被災地域の状況を踏まえながら、できる限りの支援を行ってまいります。被災地の1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

イオン東北株式会社との災害時に おける物資の供給に関する協定締結

この協定は、災害発生時において生活物資を優先的に確保・供給することにより、被災した住民の生活の安定を図るために締結したものであります。イオングループでは、2011年から自治体と包括連携協定を締結しており、地域社会が抱える課題を解決するため、子供や青少年の育成、地域防災対策、高齢者や障害者の支援など地域経済の活性化や生活サービスの向上に取り組みされている企業であります。今回の協定締結を契機に、様々な分野での協力関係につながっていくものと期待してまいります。

友好都市協定

昨年7月の豪雨災害に際し、給水パ

ックや見舞金のご支援を賜りました栃木県茂木町に11月6日に訪問し、災害支援のお礼を申し上げ、その折、友好都市の協定締結につきましてもお話ししてまいりました。

ふるさと逸品協定

2月5日に、役場大会議室において、大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」を締結しました。ふるさと逸品協定は、自治体間で協力することにより、地域の特産品の新たな販路開拓の一助になればという考えのもと、お互いの地域でPRすることを目的としており、町では、「菌床しいたけ」、「日本酒山本」、「ハタハタ等海産物」を、泉佐野市では「水なす」、「泉州タオル」をそれぞれ逸品に位置づけております。今後は、両市町のイベントや2025大阪万博などでPRを行いながら、それぞれの地域の盛り上げにつなげてまいります。

3月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町特別会計条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 町道路線の認定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 八峰町教育長の任命について
- 八峰町教育委員会委員の任命について
- 令和5年度八峰町一般会計補正予算11億1,000万6千円を減額
- 令和6年度八峰町一般会計および各特別会計予算

※内訳は2〜3ページ参照

定住促進住宅事業

民間事業者との連携により、旧峰浜庁舎跡地の遊休地を活用し住居環境を整備する「定住促進住宅事業」については、昨年12月18日に公募型プロポーザル方式による公募を開始し、2月15日にプレゼンテーションを行い、事業者を決定いたしました。今後は、関係条例等の整備を進めながら、1日も早く完成できるよう、事業者と調整を図ってまいります。

株式会社モンベルとの「連携と協力に関する包括協定」

昨年12月20日、株式会社モンベルとの間で、アウトドア活動等の促進を通じた地域の活性化と、町民生活の質の向上を目的とした、包括協定を締結しました。今後は、御所の台エリア再構築構想におけるアウトドアエリアについてご助言をいただくほか、民間企業の知見を活かした自然体験の促進や地域経済の活性化、モンベル会員への情報発信等について、連携と協力を行ってまいります。

白神山地世界遺産登録三十周年記念イベント「留山」森の鍋「物語」

このイベントは、台湾等からのインバウンドなど、冬季の誘客促進を図ることを目的に実施したものであります。

令和6年産米の「生産の目安」

当日は、雪上トレッキングを楽しんだほか、留山のブナの巨木の前できりたんぼ鍋がふるまわれ、白神の冬の恵みを体験していただきました。運営に当たられた実行委員会の皆様には、厚くお礼を申し上げます。

県では、昨年12月5日に県の「生産の目安」について、各市町村へ通知をしており、現在の需給環境をより確かなものとするため、作付数量および面積を、昨年と同等とする内容になっております。

これを受け、町協議会としても、昨年12月26日の幹事会および1月22日の総会において、八峰町の「生産の目安」を昨年と同等とすることで決定しております。

これからも、農協等の方針作成者の協力のもと、非主食用米や高収益作物などへの取組を進め、米価の安定に努めてまいります。

「寄附について」

昨年7月12日と10月13日の2回にわたり、100万円ずつ若狭敏春様からご寄附があり、「小中学生のために使わせてほしい」とのことでありましたので、八森、峰浜両小学校と八峰中学校のそれぞれの音楽室に、エアコンを設置するために使用させていただくことにしました。若狭様のご厚意に対し、

心から感謝を申し上げます。

また、金谷信榮様から昨年12月26日「図書室の充実に役立てていただきたい」と、150万円のご寄附をいただきました。

金谷様からは、平成24年から続けてご寄附をいただいております。総額で1,200万円にもなります。金谷様のご厚意に対し、心から感謝を申し上げます。

これにより、図書室としては人口1人当たりの蔵書数や図書購入費用、貸出冊数は県内トップレベルにあります。町としましては、今後も、図書室の充実を図りながら、読書活動を推進し、町民文化の向上に努めてまいります。

八峰町スポーツ文化栄誉賞

2月24日、峰栄館において、今年度のスポーツ文化栄誉賞授賞式を行いました。受賞者数は町長賞が1名、教育委員会賞が13名、小中学生奨励賞が5名および2団体、合わせて個人19名と2団体でありました。

受賞された皆様は、たゆまぬ努力と強い意志を貫かれ、八峰町の名前を県内だけでなく東北や全国へと広く知らしめ、町民の皆様に誇りと元気を与えて下さいました。

まさに称賛に値するものであり、心からお祝い申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を期待いたします。